



チームしが 県議団

会派ニュース

発行責任者 / 清水鉄次
編集責任者 / 山田 実

2015年1月 第1号

チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁2階 TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520 MAIL/info@knw.jp info@shiga-net.jp チームしが 県議団 検索

始動!

チームしが 県議団

2014年10月31日から新しく「チームしが 県議団」を結成いたしました。
「チームしが 県議団」の理念は、「草の根自治の滋賀」を更に発展させること、琵琶湖や自然と共に生き、すべての人に居場所と出番がある「共生社会・滋賀」を築くこと、滋賀の力を伸ばして力強く持続的な「経済と雇用の滋賀」をつくることです。
今後も県民の皆様のご意見を県政へ反映しながら、希望の持てる滋賀県となるよう取り組んでまいります。



11月定例会議

三日月草の根県政を問う

12月1日の本会議でチームしが 県議団を代表して柴田智恵美政調会長が「新年度予算編成」「地方分権のあり方」「医療福祉」「県内の中小企業・小規模事業者の現状と対策」「海外戦略と情報の受発信」「農地集積」「流域治水対策の推進」「教育問題」の八項目について質問を行いました。
三日月知事の主な答弁を紹介いたします。

力をひとつに

Q 県議団が
目指すものは

A 7月の知事選において三日月知事が県民の皆様と約束された政策提案集「人と地域がキラリと輝く7つの滋賀」が、新年度の滋賀県基本構想に反映されます。それを実現することと政策チェックがチームしが 県議団の大きな役割です。

Q 県議団の
最重要政策は

A 滋賀県でも人口減少がはじまっています。その対策や経済雇用対策、県民の皆様が安心・安全な医療福祉政策、防災や卒原発、そして琵琶湖や自然と共に生きる草の根自治の滋賀の発展です。

代表 清水鉄次



地方の自主性を 阻害する

国の動きに懸念
三日月知事は「自公政権下で形骸化してきている『国と地方の協議の場』のあり方」「地域の努力を無視し、農政の根幹を揺るがし、本県農業にとっては死活問題になっている『農地集積』協力金の配分不足」「小学1年生の35人学級の廃止の動き」などについて懸念を示し、いずれの課題に対しても滋賀県から国に引き続き訴えていくと表明しました。

独自の 経済振興策に意欲

取り組みを国土交通省も取り上げている事例のほか、大学・自治体・マスコミからの注目が高まっていること、また「広松伝賞（広松伝さんは福岡県の柳川堀割を復活再生した功労者）」を受賞したことなどを紹介しながら、知事は「各方面からの滋賀方式の治水事業が評価されはじめていく」との認識を示しました。

各方面から評価される「流域治水」に自信
嘉田前知事時代に示された「流域治水」の考え方に沿った

三日月知事は「創業支援や融資制度の充実や『利用件数が男性の伸び率を上回った開業資金の『女性創業枠』の実績を踏まえ、若者や女性の創業・起業支援や融資制度のさらなる充実を図る』との答弁がありました。
また、ベトナムや台湾との経済関係づくりの報告を行い、水環境ビジネスを「琵琶湖モデル」として積極的に進めていく意欲を示しました。

